

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【公開番号】特開2014-131706(P2014-131706A)

【公開日】平成26年7月17日 (2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2013-255112(P2013-255112)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月9日 (2014.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者による発射操作に基づいて、遊技領域に向けて遊技球を発射する発射手段と、
前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球部と、
当該始動入球部に遊技球が入球したことに基づいて、特別情報を取得する情報取得手段と、

当該情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

当該取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた移行情報に対応しているか否かの移行判定を行い、前記取得情報記憶手段に複数の特別情報が記憶されている場合にはそれら複数の特別情報に対して前記移行判定を順次行う移行判定手段と、

当該移行判定手段による移行判定の結果が移行対応結果となった後に、遊技状態を移行させる状態移行手段と、

を備えている遊技機において、

前記遊技領域には、前記始動入球部として少なくとも第 1 始動入球部と第 2 始動入球部とが設けられており、

前記取得情報記憶手段は、

前記第 1 始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第 1 所定数を上限として記憶する第 1 取得情報記憶手段と、

前記第 2 始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第 2 所定数を上限として記憶する第 2 取得情報記憶手段と、

を備えており、

前記移行判定手段は、前記第 1 取得情報記憶手段又は前記第 2 取得情報記憶手段に記憶されている特別情報のそれぞれに対して前記移行判定を行うものであり、前記移行対応結果となる確率が相対的に高低となる高確率移行判定手段と低確率移行判定手段とを備え、

前記状態移行手段は、

前記移行判定の結果が低確率対応結果となった後に、前記低確率移行判定手段により前記移行判定が行われる低確率遊技状態に移行させる低確率移行手段と、

前記移行判定の結果が高確率対応結果となった後に、前記高確率移行判定手段により前記移行判定が行われる高確率遊技状態に移行させる高確率移行手段と、
を備え、

当該遊技機は、

前記第2取得情報記憶手段に特別情報が記憶されている場合には、その記憶されている特別情報よりも早いタイミングで前記情報取得手段により取得された特別情報が前記第1取得情報記憶手段に記憶されていたとしても前記第2取得情報記憶手段に記憶されている特別情報に対して前記移行判定が行われるようにする優先手段と、

前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて先判定する第1先判定手段と、

前記高確率遊技状態において、前記先判定の結果が前記所定の特別情報が前記低確率対応結果となる情報であることに対応した結果の場合に当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて所定の報知手段により所定報知を実行する報知実行手段と、

前記第2取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となった場合における判定結果に対応する報知が、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて所定の報知手段にて実行されるようにする手段と、
を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、遊技者による発射操作に基づいて、遊技領域に向けて遊技球を発射する発射手段と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入球部と、

当該始動入球部に遊技球が入球したことに基づいて、特別情報を取得する情報取得手段と、

当該情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

当該取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた移行情報に対応しているか否かの移行判定を行い、前記取得情報記憶手段に複数の特別情報が記憶されている場合にはそれら複数の特別情報に対して前記移行判定を順次行う移行判定手段と、

当該移行判定手段による移行判定の結果が移行対応結果となった後に、遊技状態を移行させる状態移行手段と、

を備えている遊技機において、

前記遊技領域には、前記始動入球部として少なくとも第1始動入球部と第2始動入球部とが設けられており、

前記取得情報記憶手段は、

前記第1始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第1所定数を上限として記憶する第1取得情報記憶手段と、

前記第2始動入球部に遊技球が入球した場合に前記情報取得手段が取得した特別情報を、第2所定数を上限として記憶する第2取得情報記憶手段と、

を備えており、

前記移行判定手段は、前記第1取得情報記憶手段又は前記第2取得情報記憶手段に記憶されている特別情報のそれぞれに対して前記移行判定を行うものであり、前記移行対応結果となる確率が相対的に高低となる高確率移行判定手段と低確率移行判定手段とを備え、

前記状態移行手段は、

前記移行判定の結果が低確率対応結果となった後に、前記低確率移行判定手段により前

記移行判定が行われる低確率遊技状態に移行させる低確率移行手段と、

前記移行判定の結果が高確率対応結果となった後に、前記高確率移行判定手段により前記移行判定が行われる高確率遊技状態に移行させる高確率移行手段と、
を備え、

当該遊技機は、

前記第2取得情報記憶手段に特別情報が記憶されている場合には、その記憶されている特別情報よりも早いタイミングで前記情報取得手段により取得された特別情報が前記第1取得情報記憶手段に記憶されていたとしても前記第2取得情報記憶手段に記憶されている特別情報に対して前記移行判定が行われるようにする優先手段と、

前記第1取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて先判定する第1先判定手段と、

前記高確率遊技状態において、前記先判定の結果が前記所定の特別情報が前記低確率対応結果となる情報であることに対応した結果の場合に当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて所定の報知手段により所定報知を実行する報知実行手段と、

前記第2取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定の対象となった場合における判定結果に対応する報知が、当該所定の特別情報が前記移行判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて所定の報知手段にて実行されるようにする手段と、
を備えていることを特徴とする。